

## I. 一般目標 (General Instructional Objective)

外科の基本的知識と技術を学び、呼吸器外科疾患の術前・術後に必要な検査や治療計画を立て、評価する能力を身につける。かつ、日々の診療を通して医師としての必要な態度や習慣を修得する。

## II. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives)

### ① 基本的診療法を修得できる。

患者とのコミュニケーション、病歴聴取、全身の身体所見、呼吸音の聴診を行う。各疾患の鑑別と診断および治療法の選択ができる。術前、術後インフォームドコンセントに立ち会う、手術記事、退院サマリーを作成する、他のスタッフとの適切なコミュニケーションをとる「ことができる」。

### ② 術前術後における諸検査の結果を正しく評価することができる。

胸部単純X線写真、胸部CT写真、胸部MRI写真、FDG-PET  
気管支鏡検査、胸部超音波検査  
呼吸機能検査、心電図、心エコー図  
血液ガス分析、血液生化学検査、胸水生化学検査

### ③ 手術、周術期管理を経て外科の基本的な手技や全身管理の基礎を修得できる。

消毒法、縫合、結紮  
胸水穿刺、胸腔ドレーン挿入・管理、気管支鏡検査  
開胸、閉胸法、手術ポート作成、胸腔鏡操作  
呼吸管理、水分管理、疼痛管理、栄養管理

### ④ Evidence based medicine (EBM) に基づく学習の方略を修得できる。

術前検討会における症例プレゼンテーション  
呼吸器合同カンファランスへの参加  
医学論文抄読会発表

## III. 方略 (Learning Strategies)

病棟・外来でのトレーニング、学会参加(スライド作製、発表、症例報告など)、カンファランスなど

## IV. 経験できる疾患・手術など

### 経験できる疾患:

嚢胞性肺疾患(気胸、巨大肺嚢胞など)、肺良性腫瘍(過誤腫、結核腫など)、肺悪性腫瘍(非小細胞肺癌、小細胞肺癌)、転移性肺腫瘍、気道狭窄(腫瘍性)、縦隔腫瘍(良性、悪性)、膿胸(有癭性、無癭性)、縦隔洞炎、胸壁腫瘍(原発性、転移性)、胸部外傷(外傷性肺損傷、血気胸、横隔膜破裂など)

### 経験できる手技・手術:

肺全摘術、肺葉切除・2葉切除術(開胸、胸腔鏡下)、肺区域切除術、肺部分切除術(開胸、胸腔鏡下)、縦隔腫瘍摘出術(胸骨縦切開、開胸、胸腔鏡下)、重症筋無力症に対する拡大胸腺摘出術、隣接臓器合併切除術、血管・気管支形成を伴う手術、体外循環を伴う手術、開窓術、

胸腔鏡下膿胸腔搔爬術、内視鏡下気道処置(ステント留置、レーザー焼灼、気管支充填術をなど)、胸腔ドレーナージ・胸水穿刺(エコー下、透視下、CT下)、縦隔ドレーナージ、肋間神経ブロック、中心静脈カテーテル留置、呼吸管理(酸素療法、侵襲・非侵襲的人工呼吸管理、気管切開管理など)、術前・術後呼吸リハビリテーション

## V. 評価 (Evaluation)

Minimum EPOC、症例発表による自己評価・指導医評価。  
指導医・看護師・医療スタッフによる形成的評価。

## VI. 指導者と研修施設

1. 診療部長 光岡 正浩
2. 指導責任者 光岡 正浩
3. 指導医 光岡 正浩、吉山 康一
4. 研修施設 久留米大学病院

## VII. 週間予定

月	8:00	医局会、抄読会
	9:00	赤木教授回診(ICU/HCU)～病棟/手術
火	7:30	ICU/HCU回診
	8:50	病棟連絡会
	9:00	田中教授回診(病棟)/外来
水	7:30	ICU/HCU回診
	9:00	病棟回診/外来/手術
	16:00	呼吸器外科カンファランス
	17:00	呼吸器合同カンファランス(外科、内科、放射線科)
木	7:30	ICU/HCU回診
	9:00	病棟回診/外来
金	7:30	ICU/HCU回診
	8:00	術前検討会(消化器外科、肝臓外科、乳腺外科合同)
	9:00	病棟回診/外来/手術
土	9:00	病棟回診

